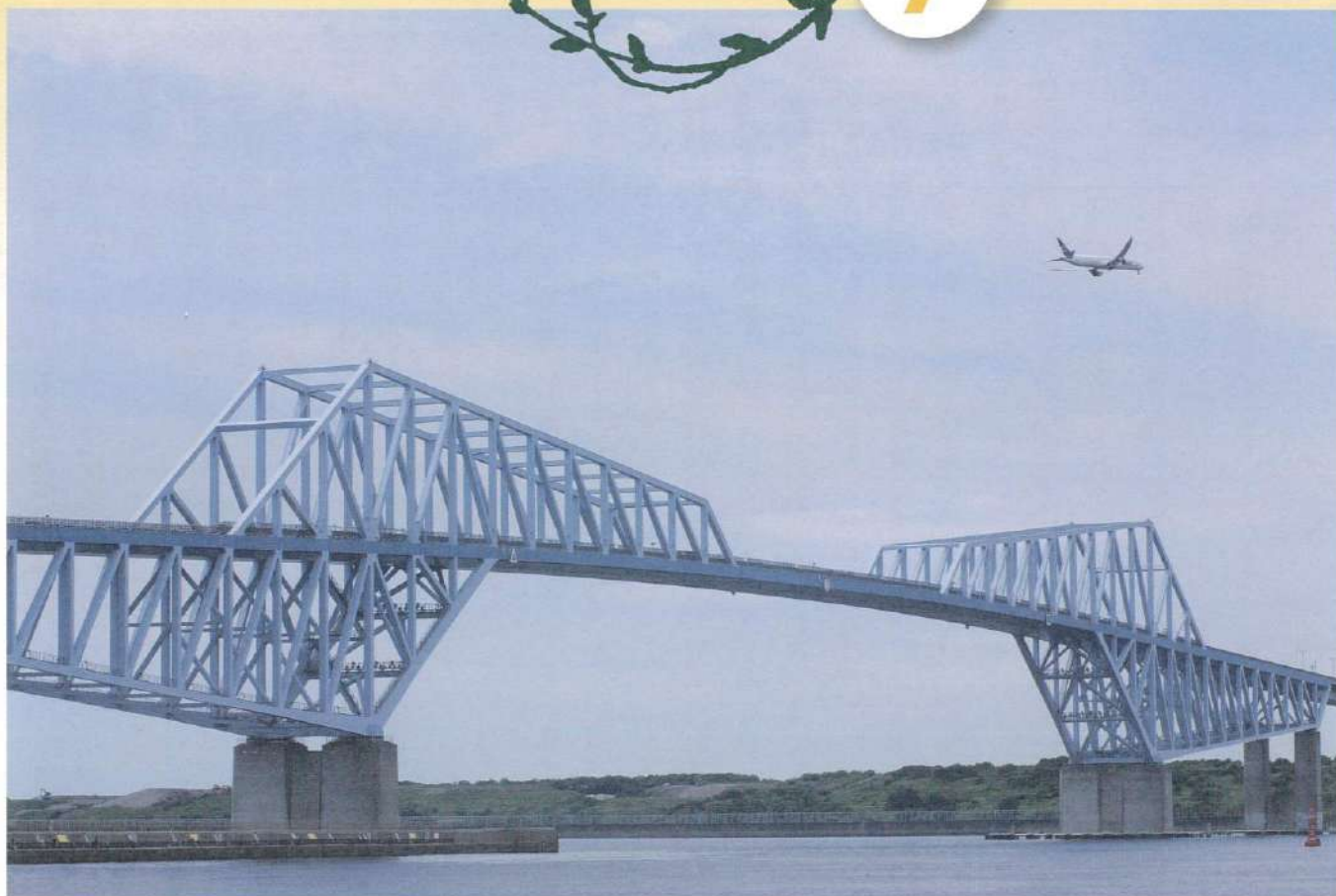


〒110-0012 東京都台東区竜泉 1-20-19
発行所 真宗 佛光寺派 西徳寺
TEL 03-3875-3351 FAX 03-3875-6796
発行人 山崎 哲
編集長 仲井 貞裕
印刷 大進ラベル印刷(株) 03-3787-3621



令和8年
7月号

大悲に生きる人とあう
願いに生きる人となる



東京ゲートブリッジ(江東区)

西徳寺の予定

7月

5日(日) 午後3時 燈虹塾セミナー

13日(月)～16日(木) 孟蘭盆会

(10日からお盆体制となり、新盆を中心にお参りに伺います。)

18日(土) 午後2時 定例間法会

22日(水) 正午 婦人会食事会(送別会)



8月

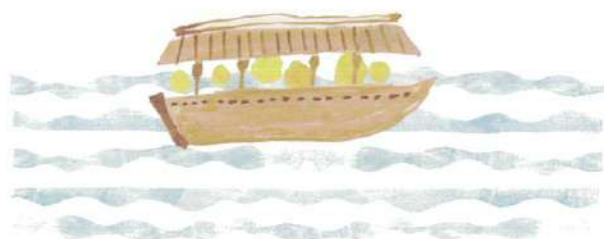
2日(日) 午後2時半 中央ブロック会間法会

場所:西徳寺

13日(木)～16日(日) 孟蘭盆会

30日(日) 午後5時 バーベキュー大会

※予定は変更することがあります。
詳しくは寺務所までお問合せください。



7月の山門の言葉

煩惱の所為なり

『歎異抄』

ホルムズ海峡封鎖による、石油供給の著しい減少。それに伴う、品物不足による物価上昇。私たちの生活に不安の波が押し寄せている。

そもそも石油とは、太古の生物の死骸が地中で長い時間をかけて変化した物である。十年、百年の話ではない。数百万、数千万年という途方もない時間をかけて自然に生成された物であると、子どもの頃に見た図鑑を思い出す。

その自然現象でたまたまで出来た物を、私たち人間は、我が物顔で自分の所有物とし、それを奪い合い争うことを続けてきた。自然からいただいている恩恵であるはずなのに、そのことを忘れて、あることを当然とし、不足していることを異常としている。確保することに終始して、そこに悲しみや痛みという感情は微塵もない。

これが、私たち人間が生まれながらにして、具えている業の中身である。親鸞聖人はそういう痛みや悲しみを感じない、違和感を抱かないことは、煩惱の所為であると教えられる。煩惱のせいだから仕方ないということではない。

煩惱とは、どんな人にもある欲であり、生きている限り消えることはない。要は煩惱とは私そのものであり、煩惱の所為とは、言い換えれば私たちのせいである。

自然が何千万年という年月をかけて、数えきれない命を犠牲にして偶然できた恵み。それを人間のもつと欲しいという、欲を満たすためだけの道具としてしか考えない。

自分の満足だけを追い求める。どこまでも業の深い私の姿を、昨今の世界情勢が、炙り出してくる。

(蓮井 邦宗 記)

ランドマーク 東京ゲートブリッジ

今月は東京湾、江東区若洲と中央防波堤外側埋立地を結ぶ、「東京ゲートブリッジ」を訪れました。

臨海部の渋滞の緩和や、物流の円滑化を図るため、平成24年に開通しました。建設時は仮称として東京港臨海大橋と呼ば

ばれていましたが、一般公募から「東京ゲートブリッジ」の名称が付けられました。また、恐竜が向かい合っている形状をしている事から、恐竜橋とも呼ばれています。

ゲートブリッジは東京港の航路を跨ぐので、大型船がくぐれるようにする必要があり、また羽田空港が近く、航空機の飛行ルート上にあるため、レインボーブリッジのような「つり橋」、横浜ベイブリッジのような「斜張橋」にすることができず、鉄骨の三角形を組み合わせる「トラス橋」で建設されました。

道路の横には歩道があり、無料で通行することができます。高所恐怖症の筆者は行けませんでした。東京湾の絶景や近くを飛ぶ飛行機、また夜のライトアップを見に行かれてはいかがでしょうか。



若洲公園キャンプ場内にあるエレベーター

成佛道

～報恩講へ向けて～

本年の西徳寺報恩講は、昨年引き続き
滋賀県：佛道寺住職 竹林栄哲布教使にお話いただきます。
令和8年10月31日（土）・11月1日（日）お参りください。
西徳寺住職 山崎 哲

摂取心光常照護

10年ほど前に、身近な人の一言によって、生きやすくなったと感じたことがありました。

父が亡くなって1年ほど経った頃の話です。高熱が出て1週間ほど寝込んだことがありました。始めは、よく汗をかくのは代謝が良くなっているのだと好意的に捉えていましたが、気が付けば、着替えが1日に5回になり、息切れが酷く、休憩しないと500メートルも歩けないほどになっていました。

40度超の発熱が続き、水分補給をしても汗になるだけ。お参りや仕事のことが頭をよぎり、早く治さなければと思っても、快方に向かっているようには思えず、気が急くばかりでした。

ところが、見舞いに来てくれた兄の一言に、気持ちが軽くなるような思いがして、数日後には出勤できるまでに快復することができたのです。

それは、「無理せずポチポチやで、僕にできることは手伝うから、心配しなくて良いよ」という言葉でした。父亡き後、住職である私が失敗しないように頑張らなければと、一人で抱えてしまっていたのです。

兄の言葉を通して、「何があっても見捨てることはない、あなたの精一杯を尽くせば良いんだよ」との阿弥陀如来の呼びかけが、すでにあったということを確認させていただきました。

住職になって四半世紀。失敗したと感ずることもありますが、精一杯を尽くして歩んでいきたいと思えます。

（竹林栄哲記）



竹林栄哲師

勝友会布教大会

去る5月28日、真宗佛光寺派所属布教使による「勝友会布教大会」が、西徳寺を会場として開催され、当日は、南は九州、北は北海道にいたるまで、全国各地から40名を超える布教使が一堂に会しました。

今回の共通テーマは「大悲に生きる人とあう願いに生きる人となる」とし、布教では4名の布教使より、それぞれの視点による法話を頂戴いたしました。今やインターネットを使えば、いつでも手軽に法話が聴ける時代ですが、「直接お話を聞く」ということの大切さを、改めて感じる機会となりました。

また、昼食にはお寺の職員が腕を振るった「手作りカレー」をご用意し、皆さまから大変ご好評をいただきました。

ご聴聞くださいましたご門徒の皆様、そして勝友会の皆様に心より御礼申し上げますと共に、これからも皆様と仏法を聴聞し、お念仏の教えに遇わせていただきたく存じます。誠にありがとうございました。（副住職 大橋 伊知郎 記）



燈虹塾 船上セミナーのご報告

漁業の一つとして投網がありますが、江戸幕末には細川流投網^{ほそかわりょうとあみ}という、遠心力を用いた投法が大流行しました。その余波は浮世絵の世界にも影響し、歌川広重の絵にも登場しています。そして、今日もその投法技術が伝承されており、今回はその投網見学を開催いたしました。セミナーという名目ではありませんが、皆さん飲み食いしながら楽しい時間を過ごされました。（事務局：高橋 淳 記）



投網実演していただきました

城西ブロック会総会・聞法会

5月24日（日）、「TKP スター貸会議室・代々木」を会場に「令和8年度総会・聞法会」を開催しました。総会に於きましては、昨年度の活動と新年度の行事予定を報告し、今後の活動が円滑に進むようご審議いただきました。

聞法会では、親鸞聖人の『正信偈』源空上人（法然上人）について、担当大橋と大谷顧問よりお話致しました。大谷顧問からは「法然上人はお念仏の教えを信じ切った人、親鸞聖人は念仏の教えを疑い続けた人」という斬新な切り口で語っていただきました。

その後は場所を移しての懇親会を行い、改めて貴重な時間を過ごさせていただきました。

次回は**10月4日（日）**を予定しております。どなたでもご参加いただけますので、大橋までお気軽にお問い合わせください。

（担当：大橋 伊知郎 記）



蓮井邦宗退職の挨拶

平成21(2009)年1月、西徳寺に入寺し、約17年勤めさせていただきました。この度、9月末をもちまして西徳寺を退職する運びとなり、機縁熟して福井県越前市にあります光照寺様に入寺することとなりました。

思い返しますと、25歳で入寺した時は、社会のことも仏教のことも何も知らず、先輩方にいろいろ教わりながら日々生活しておりました。東日本大震災やコロナウイルスの蔓延等、本当にいろいろなことがありましたが、偏にご門徒の皆様のお育てのおかげで、今日までお勤めさせていただくことができましたこと、厚く御礼申し上げます。

たくさんの方との出会いがあると同時に、多くの方とお別れをしてきました。そのどれもが私にとってかけがえのないご縁であります。何一つ欠けても、今の私は存在することができません。本当に多くのことを学ばせていただきました。

福井に行きましても、教えていただいたことを思い起こし、ご門徒の皆様と共に歩んで参りたいと思います。もしお近くに来られることがありましたら、是非ともお立ち寄りください。

本当に長い間、お世話になりました。衷心より御礼申し上げます。

蓮井 邦宗 拝

帰命山 光照寺

住所：〒915-0893 福井県武生市片屋町16-37

電話：0778-22-3652





坊さんのツブヤッター



@テッシン

眼鏡を探すおじさんに、昔は「？」だった。老眼になって納得。画面や文字に向き合うと、無意識に外して置いている(笑)「離せばわかる！」お陰さまで、読経の姿勢は良くなった。



えこお志お礼

ご浄財を頂戴いたしましてありがとうございます。ご芳名の掲載をもってお礼とさせていただきます。

- 新潟県 瑞林寺 様
- 大阪府 最勝寺 様
- 滋賀県 仏願寺 様
- 大阪府 妙圓寺 様
- 埼玉県 大西 久美子 様
- 埼玉県 田中 達男 様
- 目黒区 市川 芳子 様
- 長崎県 有馬 道文 様



内愚外賢

～賢者の信を聞きて、愚禿が心を顕す～

私はウイスキーが好きで、安い銘柄を買い、家でよく飲んでます。最近ネット上で、高級なウイスキーは炭酸で割って飲むべきか、そうでないかという議論があるそうです。その話題について、あるバーテンダーさんが動画で話しをされており、基本は飲み手に任せるが、炭酸割りに適した物と、そうでない物はあると話されていました。

その動画のコメント欄を見ると、「買った人の自由なんだから、余計なことをいうな」とありました。嫌な事を言うなと思っていると、そのコメントの返信に、「自由という言葉も良いですが、美味しい飲み方を聞く耳を持たれたら、より豊かになれそうですね」とありました。

それはお酒だけの話だけでなく、個人の自由という言葉によって、視野が狭くなる危険性があるのだと、感じさせてもらいました。(編集長 仲井 真裕 記)



数年前にもらったウイスキーチョコ

えこおに対するご意見・ご感想、お待ちしております。

✉ saitokuji@ce.wakwak.com

🌐 <https://saitoku-ji.jp>



ホームページ

ゆうちょ銀行お振り込み口座
00120-0-80670 名義 西徳寺



Facebook